

「障害科学研究」の発刊にあたって

「障害科学研究」編集委員会

このたび、障害科学学会は、2007（平成19）年3月に「障害科学研究」を発刊することになりました。障害科学学会は、社会全体における障害関連問題のクローズアップと障害（者）に対するパラダイムの大きな変化に対応すべく、筑波大学・東京教育大学の心身障害学・特殊教育学関連の教員、卒業生、修了者等により、2006（平成18）年7月に結成されました。本誌は、その機関誌の最初の巻として刊行されるものですが、筑波大学心身障害学系紀要「心身障害学研究」を継承しておりますので、「障害科学研究」第31巻として発刊されます。

2007年4月から筑波大学心身障害学系は障害科学系に名称が変更となり、第二学群人間学類心身障害学主専攻は人間学群障害科学類に改組されます。この時期に合わせて刊行される「障害科学研究」は、筑波大学・東京教育大学のこれまでの遺産を継承しつつも、障害（者）に関わる最近の社会状況が新しい枠組みにおける対応を要求していることに鑑み、そのような変化を敏感に意識し、障害当事者と社会全体に貢献できる、質の高い教育学的・心理学的・生態病理学的・福祉学的な理論・実践および臨床・基礎的研究に関する科学的成果を公表し、広く社会に還元したいと考えおります。それを実現するには、会員の皆様からの投稿が最良の手段です。是非、多様な立場におられる会員が、さまざまな方法論を展開して投稿を寄せることで、「障害科学研究」を学問的にも実践的にも良質の学術誌に高めて日本の障害科学をリードできるように、ご協力を心からお願い申し上げます。